

義務教育関係諸学校における会議等の見直しにかかわる

# 提 言

( 第 1 次 の 追 加 )

会議等のあり方を見直すことで、  
教員が子どもと向き合う時間をより多く確保するために

平成 21 年 12 月 14 日付けの提言（第 1 次）において、「教育関係機関では独自の見直し案を作成し公表する。」とされています。  
信濃教育会では、独自の見直し案を作成し、「信濃教育会報」第 913 号（平成 22 年 2 月 15 日発行）で、公表しました。  
その内容を裏面に紹介します。

平成 22 年 4 月 22 日

義務教育関係会議等のあり方見直し検討会議

長 野 県 教 育 委 員 会 事 務 局

本会では会員のアンケート等を参考にして来年度の事業について検討を始めました。**教職員の職能向上のための事業を充実させる**ことを最重要課題として進めています。その際次の2つの点に特に留意しています。

## ＜その1＞ 事業の重点化を図り、より効果的な予算執行をします

会費を会員のために効果的に執行するという観点で事業を見直したいと思います。そのために、会員が自らの実践を振り返り職能を向上させることにつながる研修を充実させたいと思います。

## ＜その2＞ 会議等を可能な限り精選します

教職員が学校を留守にする時間をできるだけ少なくし、子どもと真向う時間を多くしたいと思います。その為、できるだけ会議や委員の数を少なくする工夫をしたいと考えています。

以上のような点を踏まえて、事業をできるだけ充実させる方向で検討を進めています。以下にその概略をお知らせいたします。

**1 重点化の方向** 本会の重要な目的である教職員等に質の高い研修の機会を提供することを一層重視します。

- (1) 全県研究大会
  - ・参加者が自らの実践を振り返り、発言し、考える研究会
  - ・一流の講師を招聘する体験工房
- (2) 信濃教育会教育研究所研究発表会・公開研究会・土曜の会
  - ・自分の実践を振り返る機会となる研究会
  - ・休日に一流の講師を囲んで誰もが参加出来る研究会
- (3) 各種研究調査委員会
  - ・現場が直面している喫緊の課題について研究調査
  - ・長野県の気候・風土に根ざした教材研究・教科書研究
  - ・長野県の児童・生徒に適した副読本等の研究
- (4) 教職員の職能向上に資する情報の提供
  - ・機関誌『信濃教育』『信濃教育会報』の質的、量的な拡充
  - ・『ブックレット』による最新の教育情報の提供

**2 精選を考えている事業** 事業の重点化に伴い次のような精選の方向を考えています。

- (1) 一定の役割を果たしたと考えられる委員会や各教育会・関係機関との連携を図ることでその使命を補完できると考えられる委員会を休止し、統合可能な委員会は統合して会議や委員の数を削減
  - ①休止する委員会 人権・同和教育研究調査委員会 環境教育研究調査委員会 生涯学習研究調査委員会 情報教育研究調査委員会 小学校英語活動研究調査委員会
  - ②統合する委員会 生涯学習センター審議委員会と生涯学習センター運営委員会を統合して生涯学習推進委員会とする
- (2) 研究大会等の縮小や統合
  - ①教育課題研修会を研究所の事業に統合
  - ②「学校と地域」生涯学習フォーラムを大幅に縮小
- (3) 講習・講座は会員の要望の多い講座や信濃教育会でなければ実施できないと思われる6講座に精選
  - ①休止する講座 「英語」「情報教育」「理科観察・実験」
  - ②内容を一部変更する講座 「吹奏楽・邦楽」を「吹奏楽」として実施 「邦楽」は休止
  - ③名称変更する講座 「音楽」を「合唱」として実施
  - ④同好会に移管し資金援助する講座 「美術」
- (4) 一部事業の廃止に伴い組織改革を行い事業費や人件費を削減

以上、本会の事業の重点化と精選についてお知らせしました。更なる改善に向けて、会員の皆様の忌憚のないご意見をお寄せ下さい。